

「セロテック」TP-SL

2試薬

ビウレット法

■特長

- ・2試薬系を採用しました。
- ・共存物質は通常の濃度では影響ありません。
- ・溶血ヘモグロビンの影響を軽減しました。
- ・デキストランの影響を軽減しました。

■測定原理

検体中のタンパクはアルカリ性下で第二銅イオン (Cu²⁺) と錯体を形成します(ビウレット反応)。この呈色反応物(λ max 546nm)を比色測定することにより、総タンパク濃度を求めます。

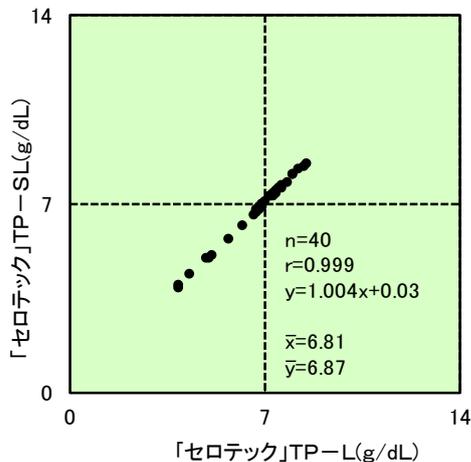
■測定条件(日立-7170の場合)

SAMPLE: 2.7 μL
 R- I :180 μL R- II :108 μL

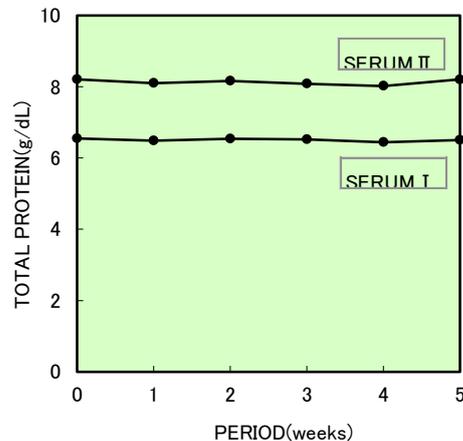
0 4.7 5.0 10.0(min)

分析法/測定ポイント 2ポイント法* :16-34
 波長(副/主) : 700/546
 STD濃度 : 7.0 g/dL *
 *キャリブ-Sを使用(ロットにより濃度は異なります)。

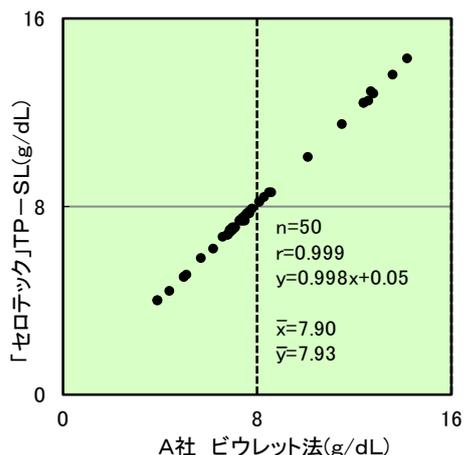
■相関(血清)



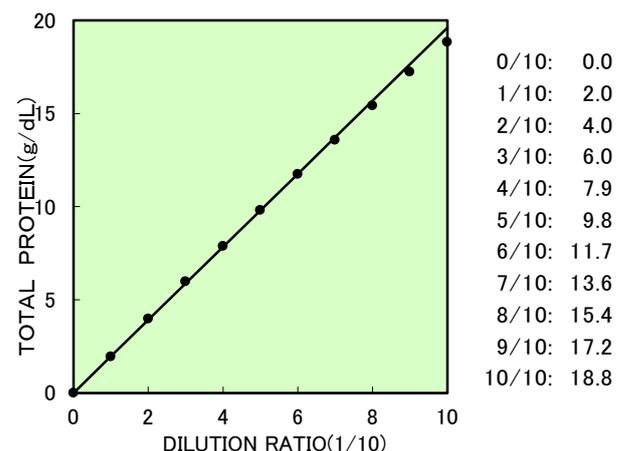
■開封後の安定性(2~10℃保存)



■相関(血清)

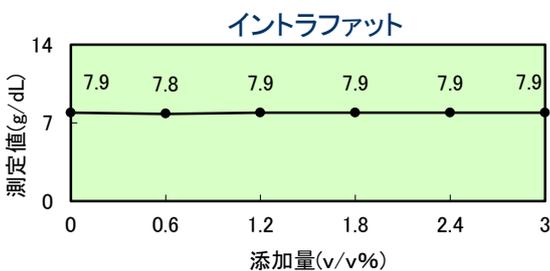
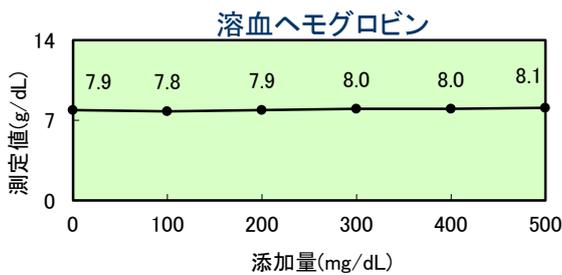
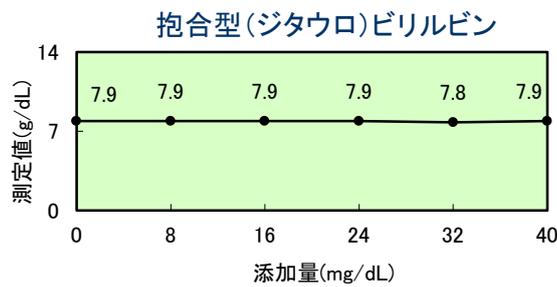
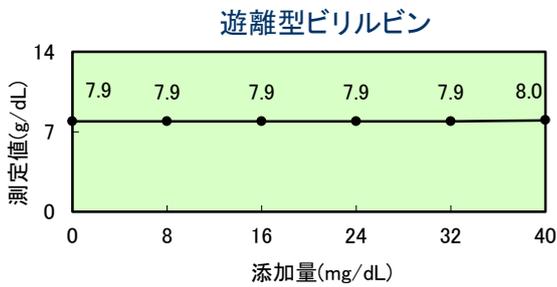
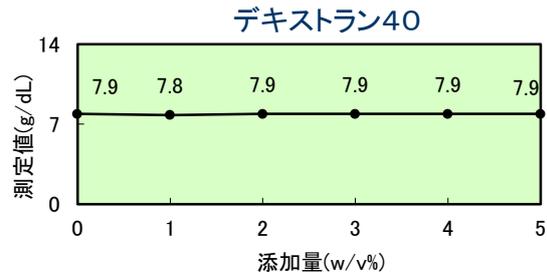
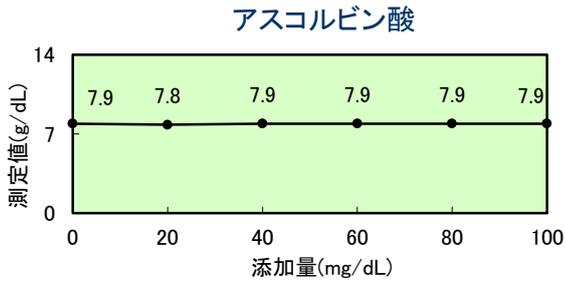


■直線性(ウシ血清アルブミン水溶液)



■ 共存物質の影響 (血清)

■ その他の血中共存物質の影響



■ 同時再現性

(単位:g/dL)

	SERUM I	SERUM II
N	30	30
MEAN	6.10	7.99
MIN	6.1	7.9
MAX	6.2	8.1
R	0.1	0.2
SD	0.02	0.03
CV(%)	0.33	0.38

■ 包装

製品コード	製品内容	包装形態
A556-02	TP-SL(R-I)	20ml × 4
A556-07	TP-SL(R-II)	12ml × 4
A556-15	TP-SL(R-I)	60ml × 4
A556-27	TP-SL(R-II)	36ml × 4
A556-10	TP-SL(R-I)	80ml × 4
A556-20	TP-SL(R-II)	48ml × 4
A556-35	TP-SL(R-I)	180ml × 3
A556-45	TP-SL(R-II)	108ml × 3
A556-55	TP-SL(R-I)	450ml × 3
A556-65	TP-SL(R-II)	270ml × 3

■ 参考基準範囲

血清: 6.7 ~ 8.3g/dL
 金井 他, 臨床検査法提要, 改訂33版, p.403, 2010.

■ 貯法及び有効期間

2~10°C保存 製造後1ヵ年 (開封後は4週間)
 ※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



株式会社 セロテック

お問い合わせ先 (企画開発室)
 〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7
 TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143
 E-mail: kikaku@serotec.co.jp

'1203,3000